

保 健 所 運 営 協 議 会 開 催 結 果 報 告 書

令和5年度	日 時	令和5年7月10日(月) 午後2時～午後4時	出席者	委員	19名	協 議 会 役 員 名	会 長	上野 豊
	場 所	茨木保健所 5階 大会議室		職員	22名		副会長	山内 榮樹
			傍聴者	0名	副会長		—	
議 事	議事の要点		委員の意見	保健所の回答			付記	
大阪府茨木保健所の 事業概要について	茨木保健所の主要事業と概要説明		神経筋難病は保健師が何人ぐらいで担当しているのか。	現在、母子難病チームの10名の保健師で担当。 コロナ禍でも神経筋難病の方に222件の相談と134回の訪問を実施。				
デジタルインフォメーション推進チーム(DIAT)の取組について	府民への健康啓発等に関する情報をデジタル映像化して発信した取組を説明		特になし。	—				
災害時に備えた電源確保事業について	医療機器を必要とする難病患者・慢性疾患児に対する災害時に備えた電源確保事業について説明。		充電ステーションが停電になっても、充電できるという理解でよいか。	大規模災害では難しいが、その企業が停電したとしても、管轄地域の複数の事業所に依頼しているので、広域的に対応可能と考えている。				
			本取組みは発災後何時間以内の稼働か。	すぐの対応が難しい場合に備え、72時間(3日間)は自助により、発電機、蓄電池等を備えるよう患者に伝えている。				
			本取組みは、高槻市でも行っているのか。	府内でも先駆的な取組みであり、高槻市はまだと聞いている。他保健所での横展開を進めるため、保健所長会議でも説明予定。				
その他			特になし。	—				